

WORKMANSHIP 社の Top の考え・理念・環境方針・進むべき道

1. Top の考え

1-1. **誠の心で対応**：過ちに対しては嘘をつかないで公表し、素早く対処する。

1-2. **長期 vision で考える**：私は、日本の大中小さまざまな製造会社がコスト重視で中国へ草木もなびく頃、物作りを国内でやらなければ駄目で、いずれすべてを置いて逃げ帰ってくるようになると、出会う人毎に言ってまいりました。国内で物作りをすることは、製造→故障→修理→改善/改良→FCO/ECO→製造などに多くの人が関わり、どこかのずる賢い国家と違い、日本人の持つ良さを伸ばすことにつながります。開発も失敗の経験から次が生まれます。作物を作るには時間が掛かりますが、土作りが先です。昨今の手抜き、怠慢な保守などで生じた事故などは、Top が Cost 重視で必要な人間まで切りすて、安さを求めて製造したその結果として発生し、下げなくとも良い白髪頭を下げざるを得なくなっております。結果として高価な安物作りや手抜きによる Cost 増へとつながっております。この結果ははじめから見えており、これが見えない Top の人間は管理に関わるべきでないと考えます。以前、某大企業の Top が、“この国は物作りに関わる人が多すぎる、サービスへ移行しなくては駄目”と言われておりましたが、その会社は製造で他社に遅れをとり、売り上げ減の責任をとって辞任いたしました。

弊社では、見えないところでどのように手抜きをされているか解らないものを取り扱いたしません。例え高くても安全な物を食べ、安心できる製品を購入し、良質で信頼できる保守を受け、長期にご使用いただくために今後も保守サービスを行ってまいります。

2. **理念**：弊社は起業に際し、“コンピュータのサービス畑一筋に40年以上の経験から得られたもの、それはお客様の満足、信頼を得る”という考えを持ったトップを柱に、良いものを長く使用して頂き (Reuse, Recycle)、そのために出来るだけのサポートを継続する会社を目指すことを第一の理念として掲げました。政府の目指す 4R、それは Refuse, Recycle, Reuse, Reduce で、製品のサポートを継続し、良いものを長く使用することでゴミの減量、再利用、再資源化などを計ることを過去から実施しております。土に戻らない廃棄物を埋めても、将来に掘り起こすこととなります。

落ち穂を拾っての営業は空腹を満足できないかも知れませんが、“様々な技術”という栄養万点のエンジニアが育ちます。特にスピードが求められる今日では、米国の手法すなわち、人を育てるより育った人材を買い取るあるいは、製品開発をするより開発した会社を買収し、必要な部門以外は捨てるなど、自身では苦勞を何もせず投資で大きくなる、儲ければ良いだけの会社を目指す企業も多々あります。しかし弊社では、例えばもし、新規事業で新たな人材が必要になったら？ それは人を育てて独自に作れば良いではないかと考えております。人の評価も、どれだけ継続して努力をするかそして、“起承転結”きちつと製品、自己、仕事、顧客、レポートなどの書類、お客さま情報などの機密、コスト、部品・Toolなどを管理できるかを重視しております。

いちから手間をかけて良いものを供給することで、安かろう悪かろう即ち、すぐ故障するようなものを買わない/売らないなど (Refuse, Reduce)、常に安定した経営と良質な品質とサービスを目指しております。この弊社の理念は創業以来変わることはありません。歴史を学ぶこと、これば過ちを繰り返さないためには絶対に必要なことです。あらゆる事に対して！

過去から現在までに製造・販売・保守をして得られた教訓として、

- ◇ 問題発生時には、“何故？如何して？ではどうすれば？”を考えて行動する。製品の質＝それに関わる人間の質。
- ◇ 安いものは故障頻度が高く手間がかかり、短い保証で結果としてお客様は高い買い物になる。“品質”に注意。
- ◇ 直って当たり前、より壊れないための方策を取るのが Engineer。
- ◇ 製造会社に不安定な事態（リストラなど）が発生した時の製品・材料等の仕入れは避ける
- ◇ 不良の見極めを第一優先とし、その責任があれば迷わず修理、早期回収（リコール）など、早い対策を取る。
- ◇ 部品・素材・製品は、仕入価格より、安定性能が実証されたものを使用する。
- ◇ リスクを考えて調達ルートの二重化や三重化、互換品の評価を平行して行い、代替品でカバーを可能にしておく。これは、“会社の売買”が激しい某国との多くの付き合いから生じた長期サポートへの危機感からです。
- ◇ 楽に仕事することを常に考え、その為の努力を怠らない。これは、良いものを出荷すれば長期間安定、その結果コールが少なくなると楽に、しかもコストも低くなる。コスト追求は安くすることだけではないと考え、実践しております。

3. 環境方針

3-1. 基本理念

修理を主とする株式会社ワークマンシップでは、環境保全のため、すでに存在する製品・装置をできるだけ長期に延命保守を行い、不良品は分別回収によってリサイクルを行います。廃棄物処理は過去の土に帰らないものを埋め立てるを改め、川上で分別回収することによってリサイクル/原料に戻し、捨てない、埋めない、燃やさないことで地球環境の悪化防止と保全・改善に努める。

3-2. 基本方針

環境目的・目標・計画の策定

3-2-1. 省エネの実施：エアコンの温度設定を抑え、不要な電灯のオフなど、消費電力削減、水道水の削減などの実施。

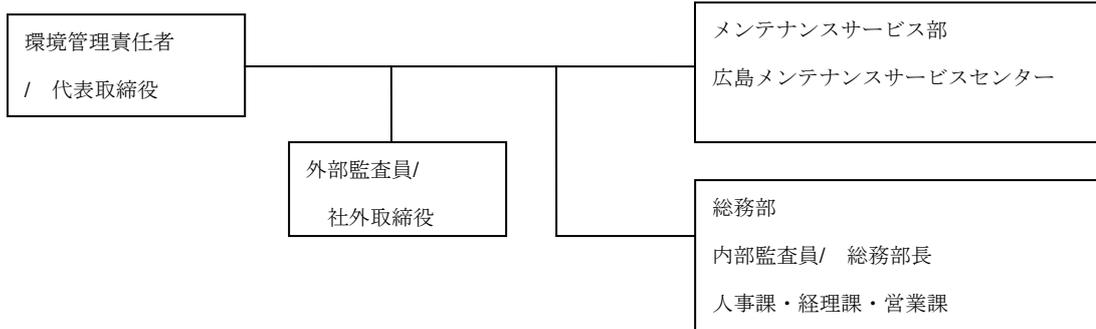
3-2-2. 省資源：印刷用紙は裏紙や広告の利用、輸送用箱・梱包材のリユースの徹底。

3-2-3. 廃棄物削減/リサイクル推進：再利用できるものはできるだけ修理して使う。紙は償却ゴミではなく、回収に回す。

廃棄品は仕分けを行い、認可された廃棄品回収業者による回収を行ってリサイクルを推進する。

環境管理システム・体制を構築・運用し、環境への負荷を低減

代表取締役を環境管理責任者とし、廃棄物の削減とリサイクル、省エネルギー、省資源への取り組みを推進する。



廃棄物の削減とリサイクル、省エネルギー、省資源に取り組み、環境への負荷を低減

省電力、梱包箱や緩衝材の再利用、古紙のリサイクルなどの取り組み、すでに存在する製品・装置をできるだけ長期に延命保守を行い、不良品は分別回収によってリサイクルを積極的に行います。廃棄物回収は、東京の事業所の廃品も本社で一元回収し、広島市の認定業者に一任しております。

環境関連法規制の周知徹底と遵守

環境省や各担当行政官庁のホームページ、新聞などから最新の環境関連法規制を改正の都度あるいは1年毎に1度入手し、遵守の徹底をはかる。環境法規制として、環境基本法、省エネ法、廃棄物処理法、容器包装リサイクル法、グリーン購入法、及びその他関連法など。

従業員への教育によって意識改革をおこなう

最新の環境関連法規制などの遵守の教育と地球環境への意識改革は、関係資料の回覧と説明を全社員に行い、各家庭においても同様に実施を促進させる。

環境影響物質の管理

RoHS 指令に指定されている物質管理の遵守を行います。これは、規制されている物質を使わないのはもちろん、既に存在しているものは修理をして、できるだけ長く使用する、“もったいない”の考え方の再認識を徹底する。

環境関連法の順守状況・達成度の確認・監査

総務部長が内部監査員として1年ごとに活動を監視・監査する。

運用結果の見直しと是正を行う

監査後あるいは、改善・改良は常時行う。

作成にあたり、EMS, KES, RoHS, ISO14001, CSR, グリーン調達、環境基本法、省エネ法、廃棄物処理法、容器包装リサイクル法、グリーン購入法などを参考といたしました。

4. 進むべき道

2003 年末からの弊社の営業方針転換について

<これまで>

販売：弊社と子会社の有限会社コントロール・ウエア社は過去、USA、台湾のいくつかの会社と代理店契約を行い、ハードディスク、RAID などの付随製品などの輸入、組み立て、販売などを行ってまいりました。しかしながら、USA では会社の転売によって製品の製造やサポートの打ち切り、倒産、不良品であることを承知の意図的販売後倒産（MICROPOLIS）、方針転換による代理店切り捨て、また、台湾の会社の製品の不具合多発など（これは明らかに検査・解析能力不足によって製造即出荷後に故障多発、しかし製造不良とは絶対言わないで壊れたら保障期間で修理するとのことで、大半の個人 User は諦める）により、予備を買い増すか別のメーカー品で代替するなど、責任を負ってのサポートはボランティアに等しい仕事となりました。たとえば、台湾から入荷された RAID などで、2 本の Wire が逆に結線されているにもかかわらず、Shipping Damage と言い張って聞かない、などの例も。

確かに販売での売上総額は UP しますが、保証終了後でも場合によってはサポートが必要となり、在庫過多となって息が抜けないう状態となりました。ある ReCall の処理では、メーカーの意図的倒産で利益を超えての出費となりました。

<2003 年末から>

製品販売の中止と保守主体へと切り替えを行いました。

保守：在庫を持たず、修理受注時に部品・製品の調達を行う保守業務は、弊社の開設時のビジネスモデルでした。

方針再転換時から数年間は伸びが鈍化いたしました。近年は受注が安定的になりはじめてまいりました。

海外の仕入れ先は、アメリカ、カナダ、ドイツ、イギリス、フランスおよびベルギーなど。

古い CDC 社製・Imprimis 社製・Seagate 社製の HDD を取り扱い致します。

HP7906 の 14 インチディスク装置は HP 社からご紹介を受けての保守です。

弊社では、End Of Service Life/End Of Life (EOSL/EOL) の製品サポートに限定し、各メーカーと競合しない“棲み分け”の体制で歩んでおります。

あらゆる分野の大小さまざまなお客さまとは、これまで通り対等なパートナーシップでビジネスを継続してまいります。

お問い合わせ先：株式会社ワークマンシップ <https://www.workmanship.com>

本社 営業 sales@workmanship.com

広島メンテナンスサービスセンター hirmsc@workmanship.com

〒731-5133 広島市佐伯区旭園 3-33 アルティメイト building 五日市駅前 3F

TEL (082) 924-4044 / FAX (082) 924-4144